

会社と社員を守る”備えの秋”



現場の声と最新実務を踏まえた、分かりやすい法務通信。

“御社が本業に専念できる環境を創る”——私たちは、御社の“社外法務部”として寄り添います。

- P2 Facebook 大反響記事
- P3 特集記事
- P4 人生設計のすゝめ
- P5 レビュー
- P6 お知らせ



経営の備えは社員を守る力になる

秋は一年の折り返し地点を過ぎ、年末に向けて経営の足元を固める大切な時期です。企業経営において「備え」とは、突発的なリスクに対応するためだけでなく、社員一人ひとりが安心して働ける環境を整えることでもあります。

社会保険料の改定や法改正への対応、就業規則や契約内容の見直しは、経営者にとって欠かせない準備であり、職場の信頼関係を築く基盤となります。会社を守るための備えは、同時に社員を守る備えであり、両者は切り離せないものです。

この“備えの秋”に、経営体制や社内制度を改めて点検し、必要な整備を進めてみてはいかがでしょうか。小さな改善の積み重ねが、会社の安定と社員の安心を支え、次の一年を力強く歩む礎となるはずです。

このニュースレターでは、実際にお悩みの方が多く事例や、法改正の背景にある実務上の視点をお届けします。忙しい日々にあえて時間を創り、御社が今すぐ取り組める”備え”について、考えてみませんか。

Facebook 大反響記事

私の Facebook アカウントは、フォローしていただいていますでしょうか。

実は、ほぼ毎日、ビジネスに効く情報のシェアからプライベートでの気づきまで、元気に投稿しております！そのなかでも、特に反響の大きかった記事を、ご紹介いたします。

【オッス！おら●●！いっちょやってみっか！】

長男は、誰に似たのか、本が大好きです。朝早起きして本を読み、ご飯を食べながら本を読み（←お行儀が悪い！）、風呂に持ち込み本を読み、車の移動中にも、歩きながらも（←危ない！）、本を読んでいます。本と言っても、7歳には漫画ですが、特にお気に入りのはドラゴンボール。ブリーチ、リボーン、ハガレン、ヒロアカ、デスノート、ぬ〜べ〜、幽遊白書…

それはまあいろいろ読んでますが、割と当初に読んでいたドラゴンボールを何度も何度もリビートして読んでます。

元祖から始まり、超（スーパー）にハマり、DAIMAを見て、いまはGTを観ています！

何回読んでるんやろう…DBの一番くじがあればそれはもう予想通り反応しまくり。

よほど好きなんでしょう。世代を超えて、何か感じるものがあるんでしょうね。

…で！

今日は、世界の共通言語であるドラゴンボール、なぜ、孫悟空はあれほど強く、一番になれるのかこれを現代社会でどう活かすのか！を考えてみたいと思います！（「主人公補正がかかっているから」とかはなしで！）

元祖ドラゴンボールの最終巻、魔人ブウと孫悟空が闘う姿を見ながら、永遠のライバル・ベジータが、「がんばれカカロット…おまえがナンバー1だ!!」と、ライバルを認める発言をします。

そこで、ベジータは、孫悟空の強さを、

「…オレはオレの思いどおりにするために…楽しみのために…敵を殺すために…そしてプライドのために闘ってきた…」**「…あいつはちがう…勝つために闘うんじゃない 絶対負けないために限界を極め続け闘うんだ…!」**

と分析しています。

これ、ビジネスでもとても大事なのかな〜と。

孫悟空は、勝つために頑張るのではなく、自分の限界を突破していくために頑張っている。言い換えれば、焦点をあててるのは、「成長」なのかなと。

自分の可能性を信じ、自分の限界を次々と打ち破っていくため、まだ見ぬ自分に出会うため、闘ってるんですね。

よく悟空は、強敵を前にすると、おそれるところか、「オラ、ワクワクしてきたぞ!」と、逆境を楽しむかのごとく、乗り越えてきました。

成長を続ける先に、他の誰にも到達できない高みがある。成功がある。

成長は成功の果実。

何のために闘うのが大事。

長男は、成長を続ける悟空の背中を追いかけて、夢中になってるのかもしれませんがね。

追いかけるのは、成功そのものではなく、成長。その先に成功があり、未来がある。

長男にも、世代を超えたこの素晴らしい作品から、人生の極意を学び取って欲しいものです。

長男が相変わらずお風呂で読んでるのを見ながら、そんなことを思ふ今日このごろでした。



社員を守り、会社を強くする ― 台風対策と BCP のすゝめ

秋は台風や大雨が多い季節です。私たちは大雨警報や台風接近のニュースに日常的に触れているため、「今までも大丈夫だったから今年も大丈夫だろう」と考えてしまいがちです。しかし、自然災害に同じ状況はなく、過去に無事だったからといって、今年も安全が約束されているわけではありません。

だからこそ、台風シーズンは会社の体制を見直す良い機会です。安否確認の仕組み、事務所の安全対策、そして事業継続を考えるための BCP—どれも難しいことではなく、小さな改善の積み重ねが、社員の安心と会社の信頼を守る大きな力になります。

“備えの秋”を、前向きに会社を強くするチャンスに変えていきましょう。

【安否確認の体制づくり】

- 電話以外の連絡手段（メール・チャットアプリ等）を準備している
 - 連絡手段を増やすと、情報が一元管理できないというデメリットにも注意しましょう
- 連絡網や緊急連絡先リストを定期的に更新している
 - 情報に変更がある場合は速やかに報告するよう、周知しましょう
- 安否確認の方法を社員全員に周知している
- 出社できない場合の勤務ルール（在宅勤務・代理担当）が決まっている

【事業所の安全対策】

- 窓ガラスやシャッターの補強をしている
- 非常用電源・飲料水・食料を備蓄している
- 車通勤者の安全を考慮した駐車場利用ルールを整備している
 - 社員用駐車場の地面が土の場合、ぬかるみによる転倒にも注意しましょう
- 帰宅困難時に備えた待機場所・対応方針を明確にしている



御社は、事業継続計画（BCP）を策定なさっているでしょうか。

BCP（Business Continuity Plan）

＝災害などで事業が中断しても、重要な業務をできる限り継続し、早期に復旧するための計画。

BCP といえば、大企業のイメージがありますが、中小企業にこそ重要です。従業員が少ない分、ひとりが動けなくなるだけで事業が止まるリスクが高いためです。

もちろん、弊所でのサポートも可能です！

- ✓ 契約書における「不可抗力条項」「納期変更条項」の確認・修正
- ✓ 災害時における取引先・顧客との責任分担に関する助言
- ✓ BCP 策定にあたり、法的リスクを踏まえた実効性ある仕組みづくりの支援
- ✓ 就業規則における出勤停止・在宅勤務・休業時の賃金取扱いルールの整備

備えは投資するか、何かが起きてから対応するか。

小さな工夫の積み重ねが、社員の命を守り、会社をより強くします。
安心のために、できることから一歩ずつ取り組んでまいりましょう。



終活弁護士による人生設計のすゝめ⑤

【人生設計に対する想い】

なぜ今、現役で働いておられるみなさまに、終活の話をも？と思われたのでしょうか。

終活について、私たちはあくまで「人生をみつめる一つの視点」だと考えています。終活という言葉は、2009年に週刊朝日が掲載したのが初めてだそうです。まだ若い言葉だからこそ、たくさんの解釈があります。そのなかで私たちは、終活とは「人生の終わりを見すえて、今をよりよく生きること」そして「大切な人とつながるためのコミュニケーション」という解釈に、とても共感しています。表面的な準備・手続きよりも、本質は何か？というところを突き詰めて考えていくと、終活は人生設計であり、経営にも通じる部分があります。

このような理由で、あえて企業様向けのニュースレターで終活の話を取り上げさせていただいております。みなさまのお役に立てましたら幸いです。



【「おひとりさま」社員へのサポート】

昨今、「おひとりさま」の終活について様々な情報があふれています。

「おひとりさま」とは一般的に、相続人にあたる人がいない方のことを指しますが、たとえ血縁者がいたとしても連絡を取り合っている関係性かどうかは、それぞれ違います。

その社員に「もしも」があったとき、御社はどのように把握され、どのようにご対応なさるでしょうか。プライバシーにも配慮しつつ、社員を大切になさっている気持ちとともに、対話をすすめてまいりましょう。

【「おひとりさま」あるいは、これから「おひとりさま」になる方によくある悩み】

1. 将来や老後に関すること

- ☐ 介護や入院が必要になったとき、誰に頼れるか
- ☐ 緊急時に入院や医療の手続きをしてくれる人がいない

2. 財産や相続に関すること

- ☐ 財産を誰に残すか（相続人がいない場合の遺産整理）
- ☐ 預金や不動産の管理を将来どうするか

3. 住まいに関すること

- ☐ 自宅の維持管理や処分をどうするか

4. 人間関係・身近な支えに関すること

- ☐ 病気や災害時に頼れる人がいない
- ☐ 孤独や不安をどう軽減するか

5. 日常の生活設計

- ☐ 保険や年金だけで生活できるのか
- ☐ 急な出費やトラブル（賃貸トラブル、消費者被害など）にどう対応するか



このような悩みごとが解消されると、日々のパフォーマンス向上も期待できますね。そのためにご活用いただけるのが、EAP（従業員支援プログラム）という福利厚生仕組みです。その一環として法律相談を行うこともできますので、ぜひお声掛けください！

レビュー ～組織開発入門～

以前のニュースレターでもご紹介しました、人事に関する書籍シリーズの一冊です。今回は「図解 組織開発入門」をご紹介します。

こちらは、元タリクルート社の社員であった坪谷邦生氏を書いておられるもので、見開き左ページに文章で、右ページに図解で、100個のポイント（ツボ）がまとめられています。

また、書籍を公式テキストとして、「人事力検定」という試験も年4回行われています。

内容としては、組織開発という分野の歴史から、最近話題の「ティール組織」「ビジョナリーカンパニー」まで触れられています。

全体像を学ぶ、最初の一冊におすすめです。



【変化と成長】

本書には、各章（全10章）の最後には「経営者の方へ」「組織で働く方へ」など、立場別に読者へのメッセージが書かれています。これが、かなり耳の痛い部分があるかもしれません…。

と言いますのも、組織で働く方の持つ選択肢である「離職」「転職」も示されているからです。企業としては、せっかく採用した貴重な人財を失いたくはなく、できるだけ長く元気に働いてほしいという想いがあります。一方で、なにかを「変える」ということは、ときに痛みを伴います。

ザッポスというアメリカの靴通販会社をご存じでしょうか。本書にも取り上げられているほか、数々の書籍も出版されています。

この会社は、社員数が1,000人を超えている状態で、大規模な組織改革に踏み切りました。

それは、従来型の階層型組織を、いくつもの「サークル」により構成される、よりフラットな組織に変革するというものです。つまり、管理職などの「役職」ではなく、それぞれの「役割」で動いていく組織になります。

これに賛同できない社員には3か月分の給料を退職金として支給するという通知を出したところ、全体の約14%にあたる、約210人の自主退職者が出ました。

なかには、戻ってきた社員もいたそうですが、史上類を見ない規模の例として、世界で注目されています。



現状維持はすなわち衰退、とよく言われますが、多くの社員の離職という痛みを伴ってでも成長を決断するという姿勢が、とても印象的です。

みなさまは、どうお感じになるでしょうか。

【今ここで、が問われる】

本書には、このような実例も多く引用しながら、今後の組織の在り方について述べられています。最新の研究や主張が次々に世に出ていく一方で、みなさまの組織はいかがでしょうか。

日本における決まりごとは守りながら、成長への挑戦を続けるみなさまを、心から応援しております！ぜひ、お力になれることがあれば、お声掛けください。

お知らせ

【法律顧問契約のご案内】

弊所の法律顧問契約に、多くのご愛顧をいただき、誠にありがとうございます！

本業に専念できる環境を創る 法律顧問サービス

詳しい内容や活用法をお伝えさせていただきます。ぜひお問い合わせください！

こんなお悩みはありませんか？

- ・現状は大きなトラブルなし
 - ・たまに気になることがある
 - ・拡大よりも安定と維持を重視
 - ・隠れたリスクを教えてほしい
-
- ・就業規則や契約を見直したい
 - ・会社 HP に顧問弁護士を記載したい
 - ・EAP に取り組みたい
 - ・2か月に1回程度、会社に来てほしい
-
- ・いくつもの事業を同時並行している
 - ・月に1回は会社に来てほしい
 - ・社員様数が30名以上
 - ・法務部が欲しいと思っている

このようにサポートいたします！

- ・メール／電話／来所にてご相談：1時間／月
 - ・リーガルチェック：1件／月
- ライトプラン：月額2万2000円**
-
- ・メール／電話／来所にてご相談：1.5時間／月
 - ・リーガルチェック3件まで／月
 - ・毎月弁護士が訪問面談
 - ・社員様の法律相談：初回無料（1名様／月）
- スタンダードプラン：月額5万5000円**
-
- ・メール／電話／来所にてご相談：2.5時間／月
 - ・リーガルチェック5件まで／月
 - ・毎月弁護士が訪問面談
 - ・社員様の法律相談：初回無料（2名様／月）
- アドバンスプラン：月額11万円**

ここには記載のない細かいサービスなどは直接お伝えさせていただきます

【お知らせ】

このたび、当事務所の所長弁護士がWebメディア「私のカクゴ」に掲載されました。「私のカクゴ」は、各界で活躍する経営者や文化人、アスリートなど、人生に覚悟をもって歩む人々の言葉を届けています。

所長はこれまでの歩み、弁護士としての姿勢、そして地域への熱い思いを率直に語っています。

ぜひ QR コードから記事をご覧ください。



発行元：豊前総合法律事務所

〒828-0028

福岡県豊前市青豊 19-14 スペース I

TEL：0979-53-9106

FAX：0979-53-9107

